

第1回 平賀駅周辺まちづくり基本計画検討会について

開催趣旨

- 令和8年8月24日（月）に第1回平賀駅周辺まちづくり基本計画検討会を平川市役所で開催いたしました。
- 検討会では、事務局から検討会設立趣旨と規約を説明したのち、「平賀駅周辺まちづくり基本計画」の検討及び市民ワークショップ・庁内検討会の進め方、アンケート実施結果、基本構想で定めた各ゾーンの実現条件と戦略課題に関する意見交換を行いました。

日時等

■日時：令和8年8月24日（月）10:00～12:00

■場所：平川市役所 4階 大会議室1

1. 開会
2. あいさつ
3. 委員紹介
4. 検討会の設立趣旨と規約
5. 議事
 - (1) 「平賀駅周辺まちづくり基本計画」の検討の進め方について
 - (2) 市民ワークショップ・庁内検討会の進め方について
 - (3) 中央公園利用者アンケート、市民アンケートの実施結果について
 - (4) 各ゾーンの目標を達成するための実現条件と戦略課題について
6. 議事に対しての意見交換
7. 今後のスケジュール
8. 閉会

開催状況



▲工藤市長挨拶



▲検討会の様子

出席者

■平賀駅周辺まちづくり基本構想検討会委員（敬称略、名簿順）

- | | | |
|----------------------|------------------------------|-------------------------|
| ・小山内 柳一（平川市商工会 会長） | ・小田桐 亨二（平川市観光協会 会長） | ・北原 啓司（弘前大学 特任教授） |
| ・成田 敏（弘南鉄道㈱ 代表取締役社長） | ・木村 方昭（平川金融団（青森みちのく銀行平川支店長）） | ※オブザーバー 土井 良浩（弘前大学 准教授） |

主な意見

- アンケート結果については、年齢・性別によって回答の傾向がもう少し分かると計画を進める上でターゲットを決める貴重な情報となる。
- 市民ワークショップについて現状1回開催となっているが、可能であれば2回開催し意見を広く取り入れてほしい。
- 「平川らしさ」が何かを考えながら検討を進めるべきである。市民ワークショップでは市民の考える「平川らしさ」を聞けると良い。
- 市職員も完成イメージを作っておいた方が良いため、できれば他事例の現地調査は市民ワークショップの前に行った方が良い。
- 空間整備・活用方針と必要機能・施設の資料についてイメージ図でわかりやすくなっているが、出来上がりすぎていると市民の入る余地がないように感じてしまう可能性があるため、市民ワークショップで資料を提示する際には工夫が必要である。
- 市民ワークショップでは難しい言葉や横文字をなるべく避け、使うときは日本語の説明を入れるなどし理解してもらえるような工夫が必要である。
- 市民ワークショップは、できることとできないことは踏まえつつ、計画に向けて自らの関わり方を考えてもらう機会としたい。
- 住民目線でこの会議も聞いていたが、平賀駅周辺がどう変わっていくかが楽しみである。
- 内容をある程度理解した上で会議に臨みたいため、次回からは会議資料の事前送付をお願いしたい。